

II. 結果の概要

1 昼間人口

平成 27 年 10 月 1 日現在、仙台市を従業地・通学地として他市町村から流入する人口は 128,827 人、仙台市内に常住し市外を従業地・通学地として流出する人口は 62,597 人で、流入人口から流出人口を引いた流入超過人口は 66,230 人となっています。仙台市の常住人口（夜間人口）は 1,082,159 人で、これに流入超過人口を加えた昼間人口は 1,148,389 人となり、前回（平成 22 年）と比較して 26,424 人増加しています。また、昼夜間人口比率は 106.1 と前回に比べ 1.2 ポイント低下しています。

表 1 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移

年次	夜間人口 (常住人口) (A)	流入人口 (B)	流出口 (C)	流入超過人口 (D=B-C)	昼間人口 (E=A+D)	昼夜間 人口比率 (E/A×100)
平成 7 年	969,971	131,173	41,251	89,922	1,059,893	109.3
12年	1,007,628	131,489	48,955	82,534	1,090,162	108.2
17年	1,020,160	132,564	53,743	78,821	1,098,981	107.7
22年	1,045,986	127,882	51,903	75,979	1,121,965	107.3
27年	1,082,159	128,827	62,597	66,230	1,148,389	106.1

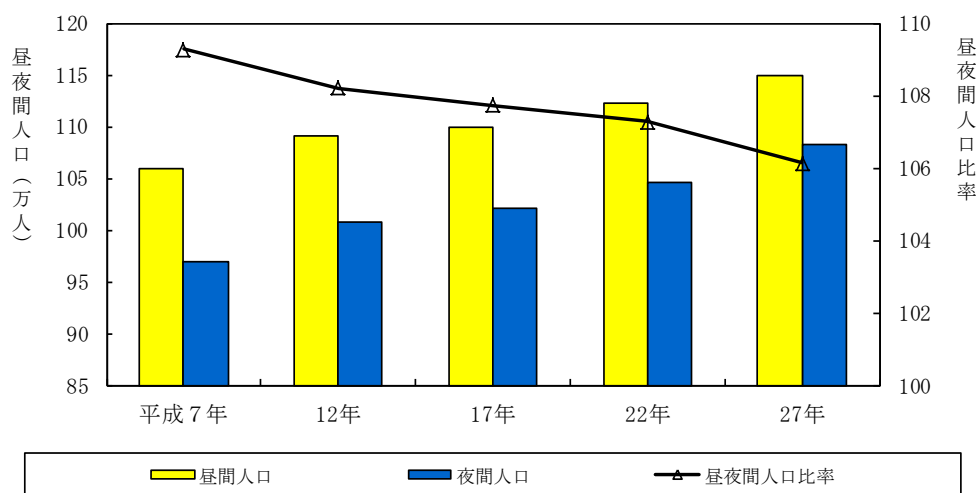
注 1) 夜間人口、昼間人口には労働力状態「不詳」を含む。

注 2) 平成 22、27 年の夜間人口には、従業地・通学地「不詳」を含む。

注 3) 平成 22 年の昼間人口には、従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

注 4) 平成 27 年の昼間人口には、従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

図 1 昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移



2 仙台市を従業地・通学地とする就業者・通学者

仙台市を従業地・通学地とする 15 歳以上の就業者及び通学者は 611,913 人で、前回に比べ 9,988 人 (1.7%) 増加しています。このうち就業者は 529,243 人、通学者は 82,670 人で前回に比べそれぞれ 11,545 人 (2.2%) の増加、1,557 人 (1.8%) の減少となりました。

就業者を常住地別にみると、市内が 416,744 人（仙台市を従業地とする就業者の 78.7%）、市外が 105,503 人（同 19.9%）となっており、前回と比較すると、市内が 10,789 人（2.7%）、市外が 1,758 人（1.7%）の増加となりました。さらに、市外のうち他県をみると、5,013 人（66.5%）の増加となりました。通学者を常住地別にみると、市内が 59,079 人（仙台市を通学地とする通学者の 71.5%）、市外が 22,746 人（同 27.5%）となっており、前回と比較すると、市内が 406 人（0.7%）、市外が 816 人（3.5%）の減少となっています。

表 2 仙台市を従業地・通学地とする常住地別 15 歳以上就業者・通学者数

常住地	就業者数				通学者数			
	平成27年	平成22年	増減数	増減率(%)	平成27年	平成22年	増減数	増減率(%)
市内	416,744	405,955	10,789	2.7	59,079	59,485	△ 406	△ 0.7
自区	252,891	246,099	6,792	2.8	38,930	38,215	715	1.9
自宅	30,311	29,093	1,218	4.2	-	-	-	-
自宅外	222,580	217,006	5,574	2.6	38,930	38,215	715	1.9
他区	163,853	159,856	3,997	2.5	20,149	21,270	△ 1,121	△ 5.3
市外	105,503	103,745	1,758	1.7	22,746	23,562	△ 816	△ 3.5
県内他市町村	92,955	96,210	△ 3,255	△ 3.4	16,588	18,701	△ 2,113	△ 11.3
他県	12,548	7,535	5,013	66.5	6,158	4,861	1,297	26.7
合計	529,243	517,698	11,545	2.2	82,670	84,227	△ 1,557	△ 1.8

* 合計には従業地・通学地不詳を含む。

3 仙台市を常住地とする就業者・通学者

仙台市に常住する 15 歳以上就業者・通学者は 546,121 人で、前回に比べ 19,806 人（3.8%）増加しています。このうち就業者は 479,339 人、通学者は 66,782 人で、前回に比べ、就業者 19,859 人（4.3%）増加、通学者 53 人（0.1%）の減少となりました。

就業者について従業地別にみると、市内が 416,744 人（仙台市に常住する就業者の 86.9%）、市外が 55,599 人（同 11.6%）となっており、前回と比較すると、市内が 10,789 人（2.7%）市外が 10,072 人（22.1%）増加しました。さらに、市外のうち他県をみると、3,802 人（77.0%）の増加となっており、高い増加率を示しています。通学者について通学地別にみると、市内が 59,079 人（仙台市に常住する通学者の 88.5%）、市外が 6,858 人（同 10.3%）となっており、前回と比較すると、市内が 406 人（0.7%）減少し、市外が 688 人（11.2%）増加しました。さらに、市外のうち他県を見ると、698 人（97.4%）の増加となっており、高い増加率を示しています。

表 3 仙台市内に常住する従業地・通学地別 15 歳以上就業者・通学者数

従業地・通学地	就業者数				通学者数			
	平成27年	平成22年	増減数	増減率(%)	平成27年	平成22年	増減数	増減率(%)
市内	416,744	405,955	10,789	2.7	59,079	59,485	△ 406	△ 0.7
市外	55,599	45,527	10,072	22.1	6,858	6,170	688	11.2
県内他市町村	46,859	40,589	6,270	15.4	5,443	5,453	△ 10	△ 0.2
他県	8,740	4,938	3,802	77.0	1,415	717	698	97.4
合計	479,339	459,480	19,859	4.3	66,782	66,835	△ 53	△ 0.1

* 合計には従業地・通学地不詳を含む。

4 市町村別にみた流入人口

仙台市を従業地・通学地として他市町村から流入する 15 歳以上人口 128,249 人について、常住市町村別にみると、名取市が 16,781 人で最も多く、次いで多賀城市が 14,039 人、以下、富谷町 13,918

人、塩竈市9,215人などとなっています。

これを前回と比較すると、県内では富谷町(現:富谷市)が195人(1.4%)、大和町が178人(4.6%)、利府町が88人(1.0%)の増加となっている一方、山元町が612人(42.6%)、東松島市が610人(27.5%)、塩竈市が541人(5.5%)の減少などとなっています。

流入元を県内、他県別にみると、県内が109,543人、他県が18,706人で、前回と比較すると、県内は5,368人(4.7%)の減少、他県は6,310人(50.9%)の増加となっています。そのうち就業は66.5%(5,013人)と高い増加率を示しています。

表4 常住地別仙台市への15歳以上人口流入人口

常住市町村	平成27年			平成22年			平成27年～22年の増減			増減率(%)		
	総数	就業	通学	総数	就業	通学	総数	就業	通学	総数	就業	通学
名取市	16,781	14,640	2,141	16,785	14,281	2,504	△4	359	△363	△0.0	2.5	△14.5
多賀城市	14,039	12,690	1,349	14,330	12,928	1,402	△291	△238	△53	△2.0	△1.8	△3.8
富谷町	13,918	12,091	1,827	13,723	12,030	1,693	195	61	134	1.4	0.5	7.9
塩竈市	9,215	8,115	1,100	9,756	8,382	1,374	△541	△267	△274	△5.5	△3.2	△19.9
利府町	8,630	7,622	1,008	8,542	7,307	1,235	88	315	△227	1.0	4.3	△18.4
岩沼市	6,180	5,168	1,012	6,573	5,439	1,134	△393	△271	△122	△6.0	△5.0	△10.8
大崎市	5,461	4,337	1,124	5,659	4,412	1,247	△198	△75	△123	△3.5	△1.7	△9.9
大和町	4,041	3,538	503	3,863	3,267	596	178	271	△93	4.6	8.3	△15.6
亘理町	3,714	3,039	675	4,214	3,391	823	△500	△352	△148	△11.9	△10.4	△18.0
七ヶ浜町	3,603	3,171	432	4,096	3,575	521	△493	△404	△89	△12.0	△11.3	△17.1
柴田町	3,197	2,621	576	3,353	2,749	604	△156	△128	△28	△4.7	△4.7	△4.6
石巻市	2,650	1,704	946	3,149	2,178	971	△499	△474	△25	△15.8	△21.8	△2.6
山形市(山形県)	2,208	1,303	905	1,949	1,035	914	259	268	△9	13.3	25.9	△1.0
松島町	1,956	1,689	267	2,142	1,819	323	△186	△130	△56	△8.7	△7.1	△17.3
福島市(福島県)	1,703	918	785	1,596	859	737	107	59	48	6.7	6.9	6.5
大河原町	1,618	1,278	340	1,711	1,357	354	△93	△79	△14	△5.4	△5.8	△4.0
東松島市	1,611	1,225	386	2,221	1,742	479	△610	△517	△93	△27.5	△29.7	△19.4
白石市	1,511	1,160	351	1,701	1,251	450	△190	△91	△99	△11.2	△7.3	△22.0
美里町	1,354	1,085	269	1,513	1,233	280	△159	△148	△11	△10.5	△12.0	△3.9
角田市	1,212	926	286	1,415	1,037	378	△203	△111	△92	△14.3	△10.7	△24.3
登米市	1,202	833	369	1,258	894	364	△56	△61	5	△4.5	△6.8	1.4
栗原市	1,172	832	340	1,296	913	383	△124	△81	△43	△9.6	△8.9	△11.2
川崎町	1,084	941	143	1,173	987	186	△89	△46	△43	△7.6	△4.7	△23.1
山元町	826	620	206	1,438	1,117	321	△612	△497	△115	△42.6	△44.5	△35.8
その他の市町村	19,363	13,957	5,406	13,851	9,562	4,289	5,512	4,395	1,117	39.8	46.0	26.0
計	128,249	105,503	22,746	127,307	103,745	23,562	942	1,758	△816	0.7	1.7	△3.5
(別掲)												
県内市町村	109,543	92,955	16,588	114,911	96,210	18,701	△5,368	△3,255	△2,113	△4.7	△3.4	△11.3
他県	18,706	12,548	6,158	12,396	7,535	4,861	6,310	5,013	1,297	50.9	66.5	26.7
うち 福島県	4,478	2,489	1,989	4,603	2,579	2,024	△125	△90	△35	△2.7	△3.5	△1.7
山形県	4,425	2,485	1,940	3,685	1,792	1,893	740	693	47	20.1	38.7	2.5
岩手県	2,219	1,440	779	1,569	1,026	543	650	414	236	41.4	40.4	43.5

*従業地・通学地不詳を除く。

5 市町村別にみた流出人口

仙台市を常住地として他市町村へ流出する15歳以上人口（従業地・通学地不詳を除く）62,457人について、通勤・通学地をみると、名取市が11,742人で最も多く、次いで多賀城市が6,216人、以下、富谷町（現：富谷市）が5,046人、大和町が4,509人、岩沼市が4,177人などとなっています。

これを前回と比較すると、県内は大和町が1,540人（51.9%）、名取市が1,005人（9.4%）の増加となっている一方、多賀城市が119人（1.9%）、松島町が63人（10.6%）の減少などとなっています。

流出先を県内、他県別にみると、県内が52,302人、他県が10,155人で、前回と比較すると、県内が6,260人（13.6%）、他県が4,500人（79.6%）の増加となっています。

表5 通勤・通学地別仙台市からの15歳以上人口流出人口

通勤・通学地	平成27年			平成22年			平成27年～22年の増減			増減率(%)		
	計	通勤	通学	計	通勤	通学	計	通勤	通学	計	通勤	通学
名取市	11,742	9,966	1,776	10,737	9,079	1,658	1,005	887	118	9.4	9.8	7.1
多賀城市	6,216	5,042	1,174	6,335	5,090	1,245	△119	△48	△71	△1.9	△0.9	△5.7
富谷町	5,046	4,682	364	4,487	4,084	403	559	598	△39	12.5	14.6	△9.7
大和町	4,509	4,059	450	2,969	2,537	432	1,540	1,522	18	51.9	60.0	4.2
岩沼市	4,177	3,841	336	3,767	3,437	330	410	404	6	10.9	11.8	1.8
利府町	3,413	3,171	242	3,119	2,917	202	294	254	40	9.4	8.7	19.8
塩竈市	2,993	2,716	277	2,786	2,526	260	207	190	17	7.4	7.5	6.5
大崎市	2,053	2,007	46	1,876	1,802	74	177	205	△28	9.4	11.4	△37.8
石巻市	1,848	1,719	129	1,334	1,068	266	514	651	△137	38.5	61.0	△51.5
特別区部（東京都）	1,474	1,321	153	847	806	41	627	515	112	74.0	63.9	273.2
山形市（山形県）	1,467	962	505	1,173	789	384	294	173	121	25.1	21.9	31.5
柴田町	1,384	1,117	267	1,246	1,033	213	138	84	54	11.1	8.1	25.4
大衡村	1,233	1,231	2	723	722	1	510	509	1	70.5	70.5	100.0
福島市（福島県）	1,033	947	86	662	541	121	371	406	△35	56.0	75.0	△28.9
白石市	801	721	80	699	648	51	102	73	29	14.6	11.3	56.9
亘理町	778	723	55	719	638	81	59	85	△26	8.2	13.3	△32.1
大河原町	739	681	58	708	642	66	31	39	△8	4.4	6.1	△12.1
郡山市（福島県）	688	654	34	359	335	24	329	319	10	91.6	95.2	41.7
松島町	531	432	99	594	487	107	△63	△55	△8	△10.6	△11.3	△7.5
盛岡市（岩手県）	513	446	67	281	254	27	232	192	40	82.6	75.6	148.1
角田市	487	481	6	480	477	3	7	4	3	1.5	0.8	100.0
川崎町	481	470	11	430	427	3	51	43	8	11.9	10.1	266.7
村田町	455	448	7	494	479	15	△39	△31	△8	△7.9	△6.5	△53.3
その他の市町村	9,584	8,791	793	5,754	5,548	206	3,830	3,243	587	66.6	58.5	285.0
計	62,457	55,599	6,858	51,697	45,527	6,170	10,760	10,072	688	20.8	22.1	11.2
(別掲)												
県内他市町村	52,302	46,859	5,443	46,042	40,589	5,453	6,260	6,270	△10	13.6	15.4	△0.2
他県	10,155	8,740	1,415	5,655	4,938	717	4,500	3,802	698	79.6	77.0	97.4
うち 福島県	2,996	2,863	133	1,486	1,326	160	1,510	1,537	△27	101.6	115.9	△16.9
山形県	2,020	1,446	574	1,566	1,168	398	454	278	176	29.0	23.8	44.2
東京都	1,686	1,437	249	918	860	58	768	577	191	83.7	67.1	329.3

*従業地・通学地不詳を除く。

6 昼間人口の区別比較

昼間人口を区別にみると、青葉区の412,812人が最も多く、次いで宮城野区の216,325人、泉区の195,238人、太白区の187,712人、若林区の136,302人の順となっています。前回に比べ、青葉区(15,347人、3.9%の増)、宮城野区(5,626人、2.7%の増)、太白区(2,987人、1.6%の増)、泉区(2,444人、1.3%の増)若林区(20人、0.01%の増)とすべての区で増加となっています。

次に、各区の昼夜間人口比率をみると、青葉区が133.1と最大で、宮城野区(111.0)、若林区(102.1)の3区で流入超過となっており、泉区(90.1)、太白区(82.7)では流出超過となっています。これを前回と比較すると、宮城野区で0.4ポイント上昇しており、青葉区で3.3ポイント、泉区で1.2ポイント、太白区で1.0ポイント、若林区で0.9ポイント低下しています。

図2 区別昼夜間人口及び昼夜間人口比率

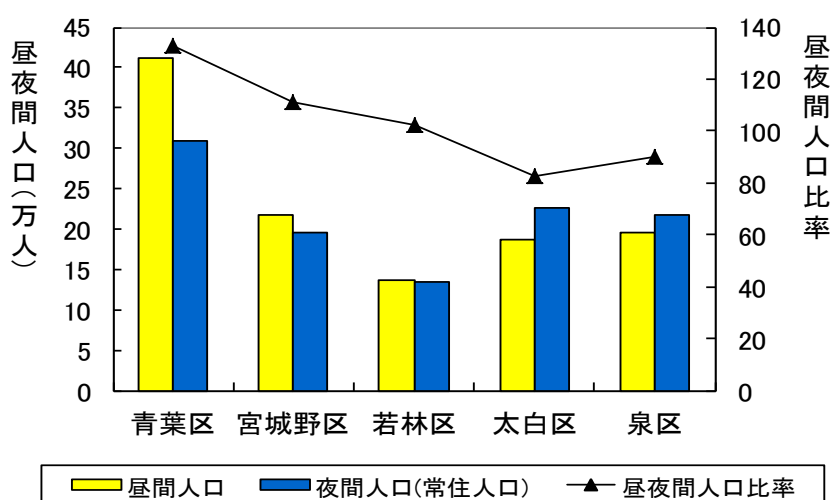


表6 区別昼夜間人口及び昼夜間人口比率

区別	夜間人口 (常住人口)	流入人口			流出人口			流入 超過 人口	昼間 人口	昼夜間 人口 比率
		市内 他区から	県内他 市町村から	県外から	市内 他区へ	県内他 市町村へ	県外へ			
平成27年										
全 市	1,082,159	186,086	110,082	18,745	186,086	52,421	10,176	66,230	1,148,389	106.1
青 葉 区	310,183	92,378	40,578	11,128	29,824	8,549	3,082	102,629	412,812	133.1
宮城野区	194,825	36,412	28,948	3,053	34,675	10,831	1,407	21,500	216,325	111.0
若 林 区	133,498	24,213	12,281	1,556	28,839	5,232	1,175	2,804	136,302	102.1
太 白 区	226,855	13,382	11,981	1,357	48,177	15,191	2,495	△ 39,143	187,712	82.7
泉 区	216,798	19,701	16,294	1,651	44,571	12,618	2,017	△ 21,560	195,238	90.1
平成22年										
全 市	1,045,986	183,197	115,460	12,422	183,197	46,243	5,660	75,979	1,121,965	107.3
青 葉 区	291,436	91,762	44,055	7,915	28,610	7,020	2,073	106,029	397,465	136.4
宮城野区	190,473	34,817	30,168	1,860	35,804	10,188	627	20,226	210,699	110.6
若 林 区	132,306	24,439	12,830	964	28,739	4,953	565	3,976	136,282	103.0
太 白 区	220,588	12,616	11,926	760	46,078	13,715	1,372	△ 35,863	184,725	83.7
泉 区	211,183	19,563	16,481	923	43,966	10,367	1,023	△ 18,389	192,794	91.3

注1) 夜間人口、昼間人口には労働力状態「不詳」を含む。

注2) 夜間人口には、従業地・通学地「不詳」を含む。

注3) 平成22年の昼間人口には、従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

注4) 平成27年の昼間人口には、従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

7 通勤・通学者の区間移動

通勤・通学者の区間移動をみると、泉区→青葉区（28,731人）が最大で、次いで太白区→青葉区（28,375人）以下、宮城野区→青葉区（20,099人）、若林区→青葉区（14,254人）、青葉区→宮城野区（10,095人）が1万人を超える移動を示しています。

表7 通勤・通学者の区間移動

区別	移動先					
	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	計
	平成27年					
青葉区	-	10,095	4,753	4,741	9,752	29,341
宮城野区	20,099	-	7,365	2,399	4,418	34,281
若林区	14,254	8,642	-	3,617	1,976	28,489
太白区	28,375	8,504	7,616	-	3,303	47,798
泉区	28,731	8,762	4,016	2,584	-	44,093
計	91,459	36,003	23,750	13,341	19,449	184,002
	平成22年					
青葉区	-	9,547	4,680	4,309	9,620	28,156
宮城野区	20,669	-	7,849	2,315	4,535	35,368
若林区	14,306	8,481	-	3,579	2,017	28,383
太白区	27,284	7,864	7,502	-	3,072	45,722
泉区	28,552	8,558	4,022	2,365	-	43,497
計	90,811	34,450	24,053	12,568	19,244	181,126

8 年齢別にみた昼夜間人口比率

昼夜間人口比率を年齢階級別にみると、仙台市全体では全ての年齢層で男女とも100を超え流入超過となっています。また、男女とも15～19歳が頂点（昼夜間人口比率 男116.6 女122.4）となっていますが、男は30歳以降からゆるやかに上昇し、55～59歳（115.2）でも再び高くなっています。一方、女は25歳以降緩やかに下降しています。

青葉区は、男女とも全ての年齢層で流入超過となっており、特に男は55～59歳で最も高く（164.8）、女は15～19歳で最も高く（173.9）昼間人口が夜間人口の2倍近くとなっています。

太白区は男女とも全ての年齢層で流出超過、泉区では男が15～19歳を除く全ての年齢層、女は25歳以上の全ての年齢層で流出超過となっています。また、太白区、泉区ともに男は45～49歳で昼夜間人口比率が最も低くなっています（それぞれ、55.2%、65.0%）。

宮城野区では、女はほぼ全ての年齢層において100前後で推移し、男はすべての年齢層で流入超過となっています。

若林区では、女は15～24歳及び65歳以上を除き流出超過、男は30歳以上の全ての年齢層で流入超過となっています。

表 8 区・年齢・男女別昼夜間人口及び昼夜間人口比率

年齢区分	男				女			
	夜間人口 (常住人口)	流入超過 人口	昼間人口	昼夜間 人口比率	夜間人口 (常住人口)	流入超過 人口	昼間人口	昼夜間 人口比率
仙台市	503,103	38,316	541,419	107.6	535,439	27,914	563,353	105.2
15歳未満	66,120	175	66,295	100.3	63,189	263	63,452	100.4
15～19	28,332	4,715	33,047	116.6	26,796	6,002	32,798	122.4
20～24	33,762	4,125	37,887	112.2	32,365	5,392	37,757	116.7
25～29	31,643	1,779	33,422	105.6	32,004	2,521	34,525	107.9
30～34	32,051	2,285	34,336	107.1	34,208	2,441	36,649	107.1
35～39	36,185	2,948	39,133	108.1	37,190	2,386	39,576	106.4
40～44	41,171	3,584	44,755	108.7	41,473	2,271	43,744	105.5
45～49	36,205	3,156	39,361	108.7	35,723	1,932	37,655	105.4
50～54	32,899	3,902	36,801	111.9	32,652	1,833	34,485	105.6
55～59	30,551	4,640	35,191	115.2	31,694	1,490	33,184	104.7
60～64	32,750	4,486	37,236	113.7	35,219	883	36,102	102.5
65歳以上	101,434	2,521	103,955	102.5	132,926	500	133,426	100.4
青葉区	145,683	55,331	201,014	138.0	156,181	47,298	203,479	130.3
15歳未満	17,507	250	17,757	101.4	16,601	295	16,896	101.8
15～19	8,641	4,452	13,093	151.5	8,089	5,976	14,065	173.9
20～24	13,205	6,410	19,615	148.5	12,312	7,747	20,059	162.9
25～29	10,180	3,582	13,762	135.2	10,134	5,086	15,220	150.2
30～34	9,578	4,479	14,057	146.8	10,113	4,825	14,938	147.7
35～39	10,244	5,142	15,386	150.2	10,691	4,802	15,493	144.9
40～44	11,460	6,262	17,722	154.6	11,647	5,030	16,677	143.2
45～49	10,204	5,998	16,202	158.8	10,120	4,162	14,282	141.1
50～54	9,424	5,576	15,000	159.2	9,335	3,534	12,869	137.9
55～59	8,525	5,527	14,052	164.8	9,123	2,657	11,780	129.1
60～64	8,999	4,698	13,697	152.2	9,732	1,818	11,550	118.7
65歳以上	27,716	2,955	30,671	110.7	38,284	1,366	39,650	103.6
宮城野区	88,577	19,427	108,004	121.9	93,064	2,073	95,137	102.2
15歳未満	12,298	227	12,525	101.8	11,770	△ 63	11,707	99.5
15～19	4,743	1,136	5,879	124.0	4,567	△ 127	4,440	97.2
20～24	5,301	74	5,375	101.4	5,046	△ 207	4,839	95.9
25～29	5,979	835	6,814	114.0	5,967	48	6,015	100.8
30～34	6,216	1,173	7,389	118.9	6,631	128	6,759	101.9
35～39	6,719	2,138	8,857	131.8	6,822	322	7,144	104.7
40～44	7,522	2,844	10,366	137.8	7,500	402	7,902	105.4
45～49	6,615	2,261	8,876	134.2	6,193	521	6,714	108.4
50～54	5,860	2,391	8,251	140.8	5,652	449	6,101	107.9
55～59	5,447	2,397	7,844	144.0	5,278	379	5,657	107.2
60～64	5,440	2,376	7,816	143.7	5,826	196	6,022	103.4
65歳以上	16,437	1,575	18,012	109.6	21,812	25	21,837	100.1

* 各計は年齢不詳を除く。

表8 区・年齢・男女別昼夜間人口及び昼夜間人口比率（続き）

年齢区分	男				女			
	夜間人口 (常住人口)	流入超過人 口	昼間人口	昼夜間人 口比率	夜間人口 (常住人口)	流入超過人 口	昼間人口	昼夜間人 口比率
若林区	62,428	5,026	67,454	108.1	63,835	△ 2,222	61,613	96.5
15歳未満	7,750	56	7,806	100.7	7,628	124	7,752	101.6
15～19	3,170	△ 82	3,088	97.4	3,065	444	3,509	114.5
20～24	3,773	△ 555	3,218	85.3	3,417	△ 701	2,716	79.5
25～29	4,038	△ 94	3,944	97.7	3,867	△ 647	3,220	83.3
30～34	4,115	179	4,294	104.3	4,200	△ 472	3,728	88.8
35～39	4,733	367	5,100	107.8	4,620	△ 329	4,291	92.9
40～44	5,338	750	6,088	114.1	5,007	△ 190	4,817	96.2
45～49	4,602	827	5,429	118.0	4,327	△ 215	4,112	95.0
50～54	4,346	824	5,170	119.0	4,033	△ 154	3,879	96.2
55～59	3,929	902	4,831	123.0	3,734	△ 49	3,685	98.7
60～64	4,182	976	5,158	123.3	4,174	△ 91	4,083	97.8
65歳以上	12,452	876	13,328	107.0	15,763	58	15,821	100.4
太白区	106,923	△ 25,091	81,832	76.5	115,033	△ 14,052	100,981	87.8
15歳未満	14,865	△ 183	14,682	98.8	14,126	△ 174	13,952	98.8
15～19	5,933	△ 1,108	4,825	81.3	5,512	△ 1,275	4,237	76.9
20～24	6,275	△ 1,377	4,898	78.1	6,108	△ 1,506	4,602	75.3
25～29	6,097	△ 1,828	4,269	70.0	6,480	△ 1,309	5,171	79.8
30～34	6,505	△ 2,442	4,063	62.5	7,101	△ 1,414	5,687	80.1
35～39	7,638	△ 3,019	4,619	60.5	7,955	△ 1,562	6,393	80.4
40～44	8,801	△ 3,885	4,916	55.9	8,948	△ 1,933	7,015	78.4
45～49	7,703	△ 3,450	4,253	55.2	7,746	△ 1,630	6,116	79.0
50～54	6,857	△ 2,731	4,126	60.2	6,849	△ 1,229	5,620	82.1
55～59	6,406	△ 2,154	4,252	66.4	6,706	△ 829	5,877	87.6
60～64	7,092	△ 1,621	5,471	77.1	7,594	△ 603	6,991	92.1
65歳以上	22,751	△ 1,293	21,458	94.3	29,908	△ 588	29,320	98.0
泉区	99,492	△ 16,377	83,115	83.5	107,326	△ 5,183	102,143	95.2
15歳未満	13,700	△ 175	13,525	98.7	13,064	81	13,145	100.6
15～19	5,845	317	6,162	105.4	5,563	984	6,547	117.7
20～24	5,208	△ 427	4,781	91.8	5,482	59	5,541	101.1
25～29	5,349	△ 716	4,633	86.6	5,556	△ 657	4,899	88.2
30～34	5,637	△ 1,104	4,533	80.4	6,163	△ 626	5,537	89.8
35～39	6,851	△ 1,680	5,171	75.5	7,102	△ 847	6,255	88.1
40～44	8,050	△ 2,387	5,663	70.3	8,371	△ 1,038	7,333	87.6
45～49	7,081	△ 2,480	4,601	65.0	7,337	△ 906	6,431	87.7
50～54	6,412	△ 2,158	4,254	66.3	6,783	△ 767	6,016	88.7
55～59	6,244	△ 2,032	4,212	67.5	6,853	△ 668	6,185	90.3
60～64	7,037	△ 1,943	5,094	72.4	7,893	△ 437	7,456	94.5
65歳以上	22,078	△ 1,592	20,486	92.8	27,159	△ 361	26,798	98.7

* 各計は年齢不詳を除く。

9 市内に常住する就業者の産業・従業地別割合

仙台市に常住する就業者のうち、市内で就業者数を産業3部門毎にみると、第1次産業が3,415人、第2次産業が60,231人、第3次産業が345,928人となっています。これを産業大分類別にみると、第1次産業のうち、「農業」は市内が3,253人で、うち自宅が2,282人となっており、一方「漁業」は市外が44人と漁業全体の半数を占めています(52.4%)。第2次産業では「鉱業、採石業、砂利採取業」で、市外の割合が高くなっています(27人、40.3%)。第3次産業では全般的に市内従業者の割合が高くなっていますが、そのうち「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」では、それぞれ自宅での就業が2,795人(市内の19.6%)、3,049人(市内の16.6%)と、他の第3次産業と比較して高くなっています。一方で「宿泊業、飲食サービス業」と「医療、福祉」と「生活関連サービス業、娯楽業」では自宅外の自区が、また「情報通信業」は他区が、いずれも市内従業者の半数を占めています。また、「運輸業、郵便業」は市外就業者の割合が18.5%(4,988人)と、第3次産業の中で比較的高くなっています。

表9 市内に常住する産業(大分類)・従業地別就業者数(平成27年)

産業大分類	総数	市内				市外		
		自宅	自宅外の自区	他区	市内	県内	他県	
		実数						
全産業	479,339	416,744	30,311	222,580	163,853	55,599	46,859	8,740
(第1次産業)	3,717	3,415	2,308	817	290	295	254	41
農業	3,471	3,253	2,282	729	242	217	193	24
林業	162	126	11	73	42	34	32	2
漁業	84	36	15	15	6	44	29	15
(第2次産業)	77,038	60,231	6,069	30,658	23,504	16,277	13,606	2,671
鉱業、採石業、砂利採取業	67	40	3	26	11	27	22	5
建設業	44,748	38,183	4,637	18,907	14,639	6,203	4,500	1,703
製造業	32,223	22,008	1,429	11,725	8,854	10,047	9,084	963
(第3次産業)	386,007	345,928	20,973	186,708	138,247	38,484	32,536	5,948
電気・ガス・熱供給・水道業	4,481	3,824	8	1,953	1,863	649	353	296
情報通信業	17,762	16,752	820	6,796	9,136	955	403	552
運輸業、郵便業	26,926	21,727	734	11,467	9,526	4,988	4,407	581
卸売業、小売業	94,156	84,819	4,900	46,482	33,437	8,928	7,497	1,431
金融業、保険業	14,619	13,436	514	6,261	6,661	1,138	814	324
不動産業、物品賃貸業	15,279	14,250	2,795	6,359	5,096	962	775	187
学術研究、専門・技術サービス業	19,950	18,392	3,049	8,015	7,328	1,504	1,083	421
宿泊業、飲食サービス業	31,015	28,975	1,474	19,027	8,474	1,874	1,661	213
生活関連サービス業、娯楽業	17,216	15,772	1,952	8,825	4,995	1,343	1,201	142
教育、学習支援業	29,961	25,944	1,270	13,874	10,800	3,950	3,600	350
医療、福祉	57,503	51,362	1,569	31,734	18,059	5,964	5,485	479
複合サービス事業	3,123	2,663	4	1,373	1,286	453	414	39
サービス業 (他に分類されないもの)	34,403	31,368	1,760	15,629	13,979	2,859	2,465	394
公務(他に分類されるものを除く)	19,613	16,644	124	8,913	7,607	2,917	2,378	539

* 全産業には「分類不能の産業」を含む。総数には「従業地」不詳を含む。

10 常住地・従業地による産業別就業者数

仙台市の就業者を3分類し、かつ産業大分類別にみると、「市内常住・市内就業者」で最も割合が高いのは「卸売業、小売業」(20.4%)であり、次に高いのは「医療、福祉」(12.3%)となっています。「流入就業者」でも「卸売業、小売業」(19.7%)が最も高くなっていますが、次に「建設業」(13.9%)「運輸業、郵便業」(9.9%)の順となっています。「流出就業者」は「製造業」(17.9%)が最も高く、次に「卸売業、小売業」(16.1%)「建設業」(11.2%)の順となっています。

前回調査時(平成22年)からの構成比の変化をみると、「市内常住・市内就業者」で最も上昇したのは「医療、福祉」(1.5ポイント)で、次に「建設業」(1.2ポイント)、最も低下したのは「卸売業、小売業」(1.4ポイント)となっています。「流入就業者」では、最も上昇したのは「建設業」(1.9ポイント)で、最も低下したのは「卸売業、小売業」(1.6ポイント)となっています。「流出就業者」でも、最も上昇したのは「建設業」(2.6ポイント)で、最も低下したのは「卸売業、小売業」(1.5ポイント)となっています。

表 10-1 本市を常住地・従業地とする産業(大分類)別就業者数(平成27年)

産業分類	市内従業者		市内常住・市内就業者		流入就業者		流出就業者	
	総数	構成比 %	総数	構成比 %	総数	構成比 %	総数	構成比 %
全産業	522,247	100.0	416,744	100.0	105,503	100.0	56,692	100.0
(第1次産業)	3,695	0.7	3,415	0.8	280	0.3	300	0.5
農業	3,462	0.7	3,253	0.8	209	0.2	218	0.4
林業	191	0.0	126	0.0	65	0.1	36	0.1
漁業	42	0.0	36	0.0	6	0.0	46	0.1
(第2次産業)	82,612	15.8	60,231	14.5	22,381	21.2	16,529	29.2
鉱業、採石業、砂利採取業	58	0.0	40	0.0	18	0.0	27	0.0
建設業	52,799	10.1	38,183	9.2	14,616	13.9	6,364	11.2
製造業	29,755	5.7	22,008	5.3	7,747	7.3	10,138	17.9
(第3次産業)	427,674	81.9	345,928	83.0	81,746	77.5	39,151	69.1
電気・ガス・熱供給・水道業	5,031	1.0	3,824	0.9	1,207	1.1	652	1.2
情報通信業	21,457	4.1	16,752	4.0	4,705	4.5	978	1.7
運輸業、郵便業	32,171	6.2	21,727	5.2	10,444	9.9	5,079	9.0
卸売業、小売業	105,583	20.2	84,819	20.4	20,764	19.7	9,108	16.1
金融業、保険業	17,098	3.3	13,436	3.2	3,662	3.5	1,159	2.0
不動産業、物品賃貸業	16,937	3.2	14,250	3.4	2,687	2.5	981	1.7
学术研究、専門・技術サービス業	22,663	4.3	18,392	4.4	4,271	4.0	1,529	2.7
宿泊業、飲食サービス業	33,374	6.4	28,975	7.0	4,399	4.2	1,929	3.4
生活関連サービス業、娯楽業	18,820	3.6	15,772	3.8	3,048	2.9	1,376	2.4
教育、学習支援業	30,674	5.9	25,944	6.2	4,730	4.5	3,981	7.0
医療、福祉	59,671	11.4	51,362	12.3	8,309	7.9	6,046	10.7
複合サービス事業	3,192	0.6	2,663	0.6	529	0.5	457	0.8
サービス業(他に分類されないもの)	39,695	7.6	31,368	7.5	8,327	7.9	2,938	5.2
公務(他に分類されるものを除く)	21,308	4.1	16,644	4.0	4,664	4.4	2,938	5.2

* 全産業には「分類不能の産業」を含む。

図3 流入・流出就業者の産業別割合（平成27年）

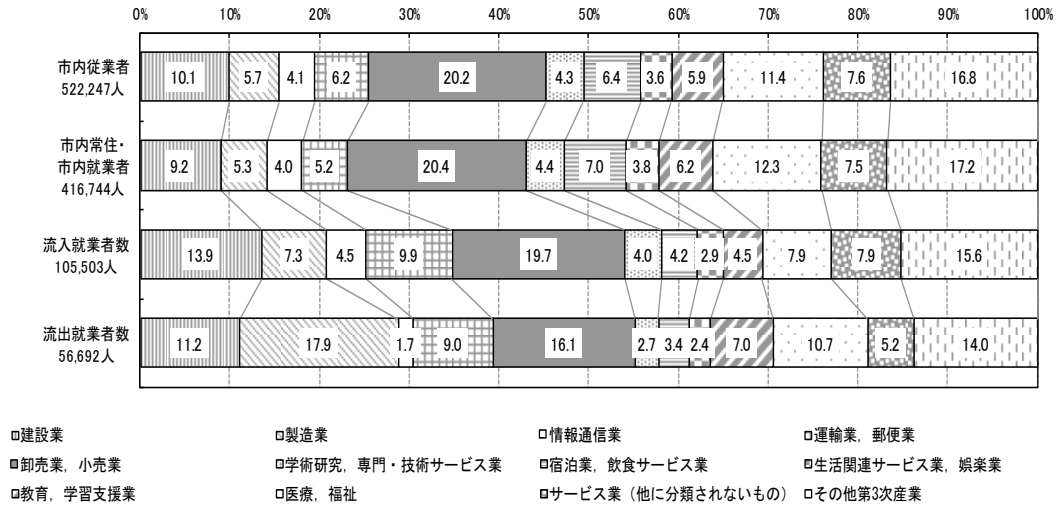


表10-2 本市を常住地・従業地とする産業（大分類）別就業者数（平成22年）

産業分類	市内従業者		市内常住・市内就業者		流入就業者		流出就業者	
	総数	構成比 %	総数	構成比 %	総数	構成比 %	総数	構成比 %
全産業	509,700	100.0	405,955	100.0	103,745	100.0	45,527	100.0
（第1次産業）	4,013	0.8	3,783	0.9	230	0.2	216	0.5
農業	3,791	0.7	3,642	0.9	149	0.1	171	0.4
林業	181	0.0	110	0.0	71	0.1	17	0.0
漁業	41	0.0	31	0.0	10	0.0	28	0.1
（第2次産業）	73,793	14.5	53,684	13.2	20,109	19.4	12,152	26.7
鉱業、採石業、砂利採取業	54	0.0	43	0.0	11	0.0	15	0.0
建設業	45,018	8.8	32,597	8.0	12,421	12.0	3,912	8.6
製造業	28,721	5.6	21,044	5.2	7,677	7.4	8,225	18.1
（第3次産業）	418,664	82.1	336,351	82.9	82,313	79.3	32,483	71.3
電気・ガス・熱供給・水道業	4,615	0.9	3,490	0.9	1,125	1.1	429	0.9
情報通信業	20,295	4.0	15,838	3.9	4,457	4.3	677	1.5
運輸業、郵便業	33,531	6.6	22,118	5.4	11,413	11.0	4,266	9.4
卸売業、小売業	110,697	21.7	88,560	21.8	22,137	21.3	8,005	17.6
金融業、保険業	17,283	3.4	13,622	3.4	3,661	3.5	927	2.0
不動産業、物品賃貸業	13,929	2.7	11,775	2.9	2,154	2.1	587	1.3
学術研究、専門・技術サービス業	20,967	4.1	17,009	4.2	3,958	3.8	1,209	2.7
宿泊業、飲食サービス業	34,741	6.8	30,293	7.5	4,448	4.3	1,597	3.5
生活関連サービス業、娯楽業	18,965	3.7	15,959	3.9	3,006	2.9	1,302	2.9
教育、学習支援業	29,605	5.8	25,032	6.2	4,573	4.4	3,713	8.2
医療、福祉	51,385	10.1	43,954	10.8	7,431	7.2	4,838	10.6
複合サービス事業	2,071	0.4	1,667	0.4	404	0.4	254	0.6
サービス業（他に分類されないもの）	40,419	7.9	31,526	7.8	8,893	8.6	2,557	5.6
公務（他に分類されるものを除く）	20,161	4.0	15,508	3.8	4,653	4.5	2,122	4.7

* 全産業には「分類不能の産業」を含む。

11 大都市の流入・流出人口

仙台市への流入人口は128,827人で21大都市（政令指定都市及び東京都区部）中11番目となっているものの、流入超過人口は66,230人で21大都市中6位、昼夜間人口比率でも106.1で6位となっています。昼夜間人口比率が最も高いのは大阪市で131.7、次いで東京都区部の129.8となっており、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、相模原市、浜松市、堺市では、昼夜間人口比率が100以下となっています。

表 11 大都市の昼間人口及び昼夜間人口比率

都市名	夜間人口 (常住人口) (A)	流入人口 (B)	流出人口 (C)	流入超過人口 (D=B-C)	昼間人口 (E=A+D)	昼夜間 人口比率 (E/A×100)
仙 台 市	1,082,159	128,827	62,597	66,230	1,148,389	106.1
札 幌 市	1,952,356	79,112	71,728	7,384	1,959,740	100.4
さいたま市	1,263,979	220,177	308,577	△ 88,400	1,175,579	93.0
千 葉 市	971,882	174,034	194,388	△ 20,354	951,528	97.9
東京都区部	9,272,740	3,180,851	419,999	2,760,852	12,033,592	129.8
川 崎 市	1,475,213	244,544	417,270	△ 172,726	1,302,487	88.3
横 浜 市	3,724,844	418,231	727,015	△ 308,784	3,416,060	91.7
相 模 原 市	720,780	80,983	165,545	△ 84,562	636,218	88.3
新 潟 市	810,157	51,684	39,372	12,312	822,469	101.5
静 岡 市	704,989	53,081	31,934	21,147	726,136	103.0
浜 松 市	797,980	44,453	49,794	△ 5,341	792,639	99.3
名 古 屋 市	2,295,638	505,769	211,608	294,161	2,589,799	112.8
京 都 市	1,475,183	247,575	114,542	133,033	1,608,216	109.0
大 阪 市	2,691,185	1,092,061	239,797	852,264	3,543,449	131.7
堺 市	839,310	119,321	173,307	△ 53,986	785,324	93.6
神 戸 市	1,537,272	213,600	179,247	34,353	1,571,625	102.2
岡 山 市	719,474	78,957	53,232	25,725	745,199	103.6
広 島 市	1,194,034	88,983	71,997	16,986	1,211,020	101.4
北 九 州 市	961,286	73,082	50,851	22,231	983,517	102.3
福 岡 市	1,538,681	247,660	82,123	165,537	1,704,218	110.8
熊 本 市	740,822	71,762	55,732	16,030	756,852	102.2

注1) 夜間人口、昼間人口には労働力状態「不詳」を含む。

注2) 夜間人口には、従業地・通学地「不詳」を含む。

注3) 昼間人口には、従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

平成 27 年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果

III. 統計表

[従業地・通学地による人口]

- ・第 1 表 常住地又は従業地・通学地による年齢(5 歳階級), 男女別人口及び就業者数

[従業地・通学地と常住地]

- ・第 2 表 常住地による従業・通学市区町村, 15 歳以上就業者数及び 15 歳以上通学者数(15 歳未満通学者を含む通学者－特掲)
- ・第 3 表 従業地・通学地による常住市区町村, 15 歳以上就業者数及び 15 歳以上通学者数(15 歳未満通学者を含む通学者－特掲)
- ・第 4 表 常住地又は従業地による雇用者(3 区分), 配偶関係(3 区分), 年齢(5 歳階級), 男女別 15 歳以上就業者数(雇用者－特掲)

[産業]

- ・第 5 表 常住地又は従業地による雇用者(3 区分), 産業(大分類), 男女別 15 歳以上就業者数
- ・第 6 表 常住地による従業市区町村, 産業(大分類)別 15 歳以上就業者数
- ・第 7 表 従業地による常住市区町村, 産業(大分類)別 15 歳以上就業者数
- ・第 8 表 従業地による産業(大分類), 年齢(5 歳階級), 男女別 15 歳以上就業者数

[職業]

- ・第 9 表 常住地又は従業地による雇用者(3 区分), 職業(大分類), 男女別 15 歳以上就業者数
- ・第 10 表 常住地による従業市区町村, 職業(大分類)別 15 歳以上就業者数
- ・第 11 表 従業地による常住市区町村, 職業(大分類)別 15 歳以上就業者数
- ・第 12 表 従業地による職業(大分類), 年齢(5 歳階級), 男女別 15 歳以上就業者数
- ・第 13 表 従業地による産業(大分類), 職業(大分類), 男女別 15 歳以上就業者数(総数及び雇用者)